

発達研 第14回公開研究会  
子どもの発達と科学的認識

講演

— 人の発達と進化 —

講師：好廣 眞一さん（龍谷大学）

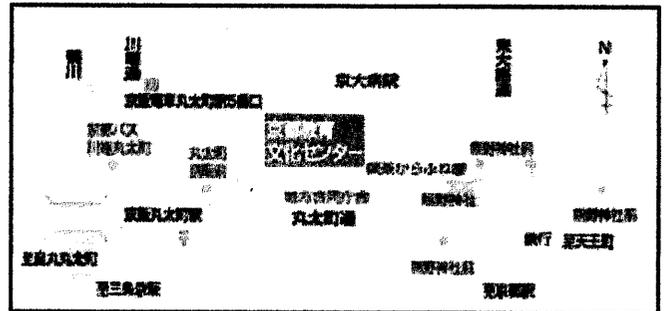
「発達・進化からみた野外活動の意義」

日時：9月26日（土）

開場 ・ 午後1：30

研究会 ・ 午後2：00～  
4：30

会場：京都教育文化センター  
2F 203号室



京大病院南西。京阪丸太町駅東へ徒歩5分、または市バス（東大路通り）熊野神社前から徒歩5分。

発達問題研究会では、子ども達と今日の学校・社会環境の間に介在する困難とその可能性という視点から、子どもたちの文化や地域と自然環境を、とらえなおす議論を試みてきています。

そして2006年より連続して、「子どもたちの発達課題と地域環境」をテーマに教育研究会を公開研究会や月例研究例会として開催、さまざまな活動を報告して頂き、実態にもとづいた学習・研究討議を行ってきています。また、例会や教育センター研究集会分科会において、「人間と自然との相互性」「子どもの発達と自然との関わり」に関する研究を継続しています。

昨年6月の公開研究会では、学習活動をより広い文化的・一歴史的なコンテクストのなかにとらえ、人間活動の創造的可能性を発見し現実化しながら、自分たちの制度や行為を転換する、集団的転換への実践的な参加へと向けられている「拡張による学習」と子どもたちを取り巻く環境について検討しました。

今年はダーウィン生誕200年ということもあり、進化の視点で人間の発達をどのようにとらえたらいいのか、「道徳心」や「倫理観」なども自然選択の結果なのか、「心の発達」をどのように考えたらいいのか、などを議論しています。今回は、子ども達が自然に関わり、親しむことができるような実践を大切に科学的認識を培うことができる取り組みについて、学習・討議を深めます。

保護者・教職員・学生のみなさんなど、関心のある方々の多くの参加をお待ちしています。

